



明峰

令和7年7月3日

第9号

校長 岡野利男

※梅雨明けから、早2週間以上が経過しました。汗びっしょりになって登校してくる子供たちは、ただそれだけで本当に偉いと思います。私にはできません…。

おめでとうございます!!

少年の主張諫早市大会



最優秀賞の森さん(中央)ら上位入賞者
—諫早市、小野ふれあい会館

最優秀に森さん(明峰中3年)

中学生が日常生活の中で感じたことや未来への希望などを発表する「少年の主張」諫早市大会(市教委主催)が2日、黒崎町の小野ふれあい会館であり、市立明峰中3年の森藍空さん(15)が最優秀賞に輝いた。森さんは8月20日に長崎市で開催される県大会に出場する。

「長崎っ子の心を見つめる」教育週間に合わせ毎年開催。計1292点の応募があり、公私立中の代表計16人が出場した。

森さんは「共に成長」と題し、どんな時も家族が自分を温かく見守り支えてくれていると気付いた出来事を紹介。目を見て話すことで相手の思いを直接感じ、温かさに触れられると主張し「周りの人と共に成長することが、自分の成長を豊かなものにできる。身近な人を大切にしたい」と力を込めた。(江崎博子)

他の主な上位入賞者は次の通り。

▽優秀賞Ⅱ 阪口寛志(西諫早3年) 林田美優花(諫早3年)

私の稚拙な文章で紹介するよりも、長崎新聞の記事が明快に森藍空さんの活躍を紹介してくれているので、新聞記者さんのお力をお借りしました。

7月2日、私も、会場で森さんの意見発表を聞いていましたが、本当に立派でした。森さんの意見の締め括りは、次の通りです。

「私はこれからも進歩し続けたいと思います。人が人と向き合って、その温かさに触れ合うことを大切にしませんか。家族だけでなく、周りの人と共に成長することが私の成長をより豊かなものにします。あなたの身近な人を大切にしてください。その方々は、きっと、共に成長していく大切な運命共同体です。いつか些細な思い出話に花が咲くように。」

森さんには、明後日16日(水)の5時間目、リモート形式により全校生徒に向けて、意見の全文を紹介してもらうことにしています。

本校の玄関



7月7日(月)、職員玄関に飾られた美しい花です。活けてくださったのは、犬塚照代さん。実は、私は34年前に犬塚さんのご長男を本校2年3組で受け持ちました。学校だより第1号に「民生委員やボランティア等、学校

を支える地域の方に、以前の保護者の方が何人もいらっしゃいました…」と書きましたが、まさに、その一人が犬塚さんです。でも、私は、とんだ失礼をしていたことが先日、犬塚さんとの会話で分かりました…。

犬塚さんが、この生け花のボランティアを始められたのは、平成6年度からとのこと。約2~3週間に一度の割合で、30年以上もボランティアを続けてこられたのです。知りませんでした。私は平成5年度まで明峰中に勤務していましたが、その頃の本校は生徒指導上の問題行動が絶えない学校でした。犬塚さんのこのボランティアは、当時、子供たちのために何かできることはないかと考えた末の行動だったそうです。

「花の力ってすごいんですよ。いろんなことを教えてくれます。」と犬塚さん。三十数年に及ぶ本校生徒のためのボランティア活動に対して、改めてのお礼を述べると「その代わりに、こうして学校に来ることで、たくさん力をもらっています。」とのこと。何も言えなくなりました。その気高い生き方に触れ、ただ感激するばかりでした。

さて、職員玄関のすぐそばに生徒会掲示板があります。6月の掲示板は6号で紹介しましたが、7月のテーマは七夕。毎月、全校生徒の心が和むよう、掲示を工夫してくれる美術同好会の皆さんに感謝。 **明峰中の玄関は本当に素敵です。**

